

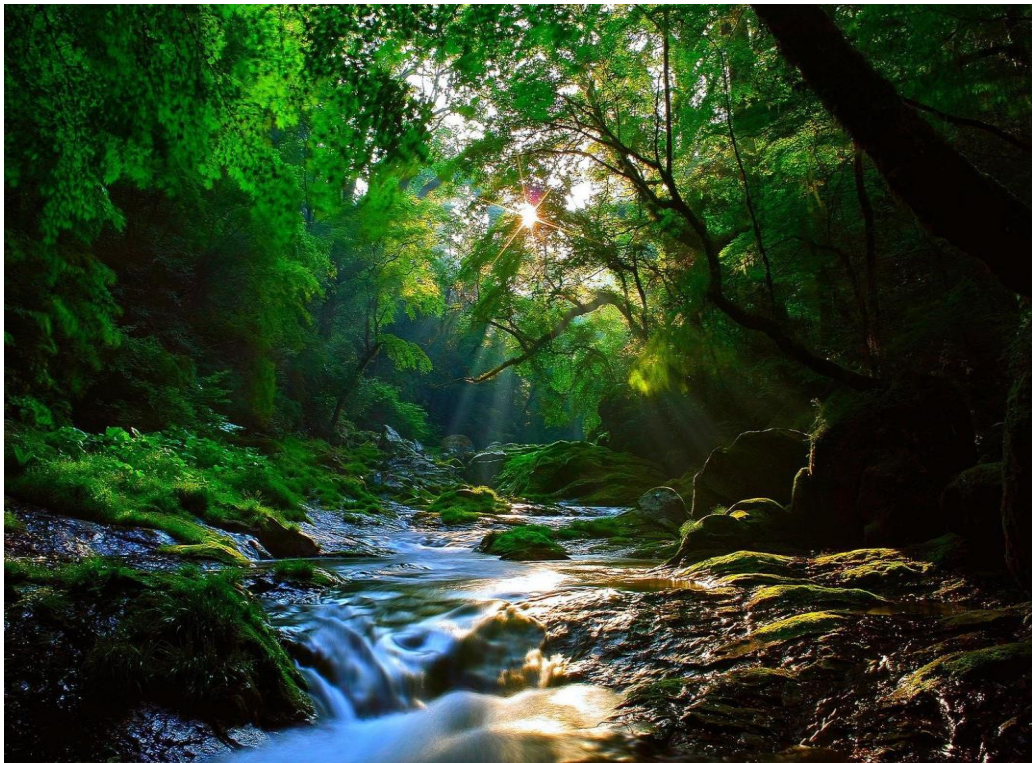
エコアクション21 環境経営レポート

【 2023年度版 】

(活動期間 2023年4月～2024年3月)

作成者 EA21事務局 渡辺 亜星

承認者 新潟事業所長 林 浩一



2024年4月22日 発行
新潟森紙業株式会社
新潟事業所

目 次

	ページ
1. . . . 事業規模の概要	1 P
2. . . . 認証・登録の対象組織・活動	1 P
3. . . . E A 2 1 推進組織図	1 P
4. . . . 環境経営方針	2 P
5. . . . 過去の環境負荷の実績と環境経営目標	3 P
6. . . . 目標と実績と評価 ①	4 P
目標と実績と評価 ②	5 P
7. . . . 主な環境経営活動計画の内容・活動・評価、次年度の取組内容	6 P
8. . . . 次年度の環境経営活動計画	7 P
9. . . . 改善事例の紹介	8 P
10. . . . 環境関連法規遵守状況	9 P
11. . . . 代表者（事業所長）による全体の評価と見直し結果	1 0 P

①会社名
②代表者名
③所在地

TEL 0250-67-3110 FAX 0250-67-3113

活動規模	単位	2021 年	2022 年	2023 年
生産量	千㎡	65,765	66,347	59,756
売上高	百万円	4,123	4,496	4,538
従業員	人	85	84	83
床面積	㎡	15,687	15,687	15,687

段ボールシート、ケース製造・販売

※本社は京都市に住所を置く親会社内にあり、新潟事業所は独立採算制で事業を行っている為、対象範囲は新潟事業所とする。

The organizational chart for the Environmental Management System (EAS) is structured as follows:

- 代表者 事業所長** (Representative Director / Branch Manager)
 - 1. 環境経営方針の策定 (Formulation of environmental management policy)
 - 2. 経営資源の準備 (Preparation of management resources)
 - 3. 代表者による全体の評価と見直し (Overall evaluation and revision by the representative)
 - 4. 環境経営レポートの承認 (Approval of environmental management report)
 - 5. 環境目標及び環境活動計画の承認 (Approval of environmental goals and activity plans)
 - 6. 経営に対する課題とチャンスの明確化 (Clarification of issues and opportunities for management)
- EA21 責任者 経理課長** (EA21 Responsible Person / Accounting Section Chief)
 - 1. EA21 システムの確立、実施推進、維持管理 (Establishment, implementation promotion, and maintenance of EA21 system)
 - 2. 環境負荷低減活動取組の総括 (Overall coordination of environmental load reduction activities)
 - 3. 環境経営目標及び環境経営計画の策定 (Formulation of environmental management goals and plans)
 - 4. 環境経営レポートの作成 (Preparation of environmental management report)
 - 5. EA-21 に関する実績把握と報告 (Monitoring and reporting of achievements related to EA-21)
 - 6. EA-21 環境経営マニュアルの作成 (Preparation of EA-21 environmental management manual)
 - 7. 教育、訓練企画の策定と実施 (Formulation and implementation of education and training plans)
- EA21 事務局 総務部担当** (EA21 Secretariat / General Affairs Section Charge)
 - 1. EA21 責任者の補佐作業 (Assistance work for EA21 responsible person)
 - 2. 環境関連法規の取りまとめ及び遵守状況確認 (Compilation and confirmation of compliance with environmental regulations)
 - 3. 教育、訓練計画の策定と実施 (Formulation and implementation of education and training plans)
 - 4. 環境文書及び記録の作成、管理 (Preparation and management of environmental documents and records)
 - 5. その他 EA21 に関する業務 (Other business related to EA21)
- 生産管理部 責任者 生産管理部長** (Production Management Department / Chief of Production Management Department)
 - 1. 環境経営計画の企画・提案 (Planning and proposal of environmental management plan)
 - 2. 問題点の是正処置 (Corrective measures for problem points)
- 営業部 責任者 営業部長** (Sales Department / Chief of Sales Department)
 - 1. 環境経営計画の企画・提案 (Planning and proposal of environmental management plan)
 - 2. 問題点の是正処置 (Corrective measures for problem points)
- 総務部 責任者 経理課長** (General Affairs Department / Chief of Accounting Section)
 - 1. 環境経営計画の企画・提案 (Planning and proposal of environmental management plan)
 - 2. 問題点の是正処置 (Corrective measures for problem points)
- 管理課 責任者 管理課長** (Management Section / Chief of Management Section)
- 製品課 責任者 製品課長** (Product Section / Chief of Product Section)
- 販売課／業務課 責任者 販売課長 責任者 業務課長** (Sales Section / Business Section / Chief of Sales Section / Chief of Business Section)

4. 環境経営方針

環境経営方針

森紙業グループ企業理念

1. ものづくりへの拘り

私たちは、ものづくりへの拘りと強い組織と行動力で、お客様に信頼いただけるよう常に変革を続けます。

2. 環境への貢献

私たちは、環境にやさしい製品を環境に負荷をかけずに供給することで、地球環境に貢献します。

3. 社会からの信頼

私たちは、企業として発展を続けることで広く社会に貢献するとともに、法令遵守はもとより公正誠実な企業活動を堅持することで、社会から信頼される企業をめざします。

環境経営方針

私たちは「私たちとかかわりあう全ての人の幸せ」を願い、「私たち個人と組織の進化」を目的に、経営における課題とチャンスを踏まえて以下の方針に対して「まじめに、前向きに」活動を継続します。

1. 「環境負荷の低減」と「循環型社会の実現」をめざし改善活動を行います。

①省エネルギーの推進(CO2の削減)

②電気使用原単位の削減

③化石燃料使用原単位の削減

④廃棄物量の削減とリサイクル化

⑤水使用量の削減

⑥手配ミス件数の削減

⑦化学物質の適正管理の維持

⑧法令の遵守

「環境経営方針書は全従業員に周知する。」

2010年 3月 1日 制定

2022年 3月 21日 改訂

新潟森紙業株式会社

事業所長 林 浩一

5. 過去の環境負荷の実績と環境経営目標

2022 年度を基準年として、2023 年度から 2025 年度の目標を下記のとおり定め、2023 年 4 月度より活動を開始した。

【東北電力(株)平成 23 年度排出係数を各年度に採用⇒0.000547t-CO₂/kwh】【ガソリン・軽油は、CO₂排出係数が違う為、月次では個別で管理実施する】【原単位：段ボール生産量千m²を採用する】

(1) 主要な環境負荷の実績把握（原単位：千m²）

環境目標項目	管理実施項目	2020 年度	2021 年度	2022 年度
		実績	実績	実績
二酸化炭素排出 原単位の削減	電気使用原単位の削減 (kwh/千m ²)	32.990	32.134	31.392
	ガソリン・軽油原単位の削減 (L/千m ²)	0.190	0.172	0.106
	LP ガス使用原単位の削減 (kg/千m ²)	1.007	0.981	0.963
	ボイラー燃料原単位の削減 (N m ³ /千m ²)	11.720	11.923	11.668
	CO ₂ 排出原単位の削減 (kg-CO ₂ /千m ²)	46.232	46.068	44.915
	CO ₂ 総排出量 (kg-CO ₂ /千m ²)	3,028,875	3,029,689	2,979,996
廃棄物の削減(原単位)	廃棄物排出原単位の削減(当社 段ボール除く)(kg/千m ²)	0.686	0.736	0.672
	単純焼却原単位の削減 (kg/千m ²)	0.525	0.571	0.540
水資源使用原単位の削減	水資源使用原単位の削減 (m ³ /千m ²)	0.204	0.172	0.169

(2) 主要な環境負荷の目標値（原単位：千m²）

取組み項目		2022年度(基準年)	2023 年度(0.5%削減)	2024 年度(1.0%削減)	2025 年度(1.5%削減) (中期の到達目標)
1. CO ₂ 排出原単位の削減(kg-CO ₂ /千m ²)		44.915	44.690	44.466	44.241
2. 電気使用原単位の削減(kwh /千m ²)		31.392	31.235	31.078	30.921
3. 化石燃料使用 原単位の削減	営業車燃料(L/千m ²) (ガソリン+軽油の削減)	0.106	0.105	0.105	0.104
	リフト燃料(kg/千m ²) (LP ガスの削減)	0.963	0.958	0.953	0.949
	ボイラー燃料(N m ³ /千m ²) (都市ガスの削減)	11.668	11.610	11.551	11.493
4. 廃棄物の削減	廃棄物の削減(kg/千m ²) (当社製品の 段ボール古紙除く)	0.672	0.669	0.665	0.662
	単純焼却の削減(kg/千m ²)	0.540	0.537	0.535	0.532
5. 水資源使用原単位の削減(m ³ /千m ²)		0.169	0.168	0.167	0.166
6. 手配ミス件数削減(前年実績の半減/件) ※小数点以下は切り上げ		9	5	3	2
7. 化学物質の適正管理する為に点検(毎年1回)		1	1	1	1
8. 環境法令の遵守の為に点検(毎年1回)		1	1	1	1

6. 目標と実績と評価 ①

取組み項目	2022 年度 基準値	目標値 (2022 年度比 0.5%削減)		2023 年度	評価
				2023 年 4 月～2024 年 3 月	
1. CO ₂ 排出 原単位の 削減 (kg-CO ₂ /千㎡)	44.915	44.690	2022 年度	44.915	×
			目標	44.690	
			実績	46.520	
			対目標比%	104.1%	
			CO ₂ 総排出量	2,779,845	
EA-21 責任者評価			今期は生産量が対前年と比べ減少し、目標を達成する事が出来なかった。来期は各項目で効率良く作業を行い、目標達成に努める。		
2. 電気使用 原単位の 削減 (kwh/千㎡)	31.392	31.235	2022 年度	31.392	×
			目標	31.235	
			実績	33.009	
			対目標比%	105.7%	
	EA-21 責任者評価			今期は生産管理システムの更新に伴い、休日出勤が増えたことにより、電気使用量が増加し削減目標を達成する事が出来なかった。引き続き、不要な電気は小まめに消灯し、目標達成に努める。	
3. 化石燃料 使用原単 位の削減 ①(L/千㎡) ②(kg/千㎡) ③(N㎡/千㎡)	①営業車燃料原単位 (ガソリン+軽油の削減) 0.106	0.105	2022 年度	0.106	×
			目標	0.105	
			実績	0.138	
			対目標比%	131.4%	
	(1) 営業車燃料原単位 (ガソリンの削減) 0.088	0.088	2022 年度	0.088	×
			目標	0.088	
			実績	0.128	
			対目標比%	145.5%	
	(2) 営業車燃料原単位 (軽油の削減) 0.017	0.017	2022 年度	0.017	○
			目標	0.017	
			実績	0.011	
			対目標比%	64.7%	
	②リフト燃料原単位 (LP ガスの削減) 0.963	0.958	2022 年度	0.963	×
			目標	0.958	
			実績	0.967	
			対目標比%	100.9%	
	③ボイラー燃料原単位 (都市ガス) 11.668	11.610	2022 年度	11.668	×
			目標	11.610	
			実績	11.970	
			対目標比%	103.1%	
EA-21 責任者評価			営業車燃料(ガソリン+軽油)については、外出自粛の制限が緩和された事により得意先訪問回数が増え、燃料の使用量が増加。リフト燃料(LP ガス)については、製品課リフトマンに欠員が発生し、効率の良い稼働が出来ず削減目標を達成出来なかった。ボイラー燃料(都市ガス)については、生産量減少に伴い、生産効率が悪化し削減目標を達成出来なかった。		

【 対目標比% = (実績 ÷ 目標) × 100 】

対目標比%表示：(例) 削減→100%以下 増加→100%超過

評価

○・・・目標を達成出来た

×・・・目標より改善出来なかった

6. 目標と実績と評価 ②

取組み項目	2022 年度 基準値	目標値 (2022 年度比 0.5%削減)		2023 年度	評価
				2023 年 4 月～2024 年 3 月	
4. 廃棄物の削減(原単位) (kg/千㎡)	廃棄物排出量(当社製品の段ボール古紙を除く) 0.672	0.669	2022 年度	0.672	○
			目標	0.669	
			実績	0.593	
			対目標比%	88.6%	
	単純焼却の削減 0.540	0.537	2022 年度	0.540	○
			目標	0.537	
			実績	0.457	
			対目標比%	85.1%	
EA-21 責任者評価		今期は生産量減少となった事から排水量減少、廃液処理稼働時間減となり汚泥排出量の減少に繋がった。今後も目標達成に向けて産廃排出量削減に努める。			
5. 水資源使用 原単位の 削減 (㎥/千㎡)	0.169	0.168	2022 年度	0.169	×
			目標	0.168	
			実績	0.210	
			対目標比%	125.0%	
	EA-21 責任者評価		2022 年 12 月度に下水道接続工事を行い、水量測定基準が一部変更となり従来と比べ流量が増加しているが設備更新による影響のため致し方ない。また、生産量が減少し原単位悪化も目標未達の要因であるため、引き続き、徹底した節水を心掛ける。		
6. 手配ミス件 数削減(件)	9	5	目標	前年実績の半減	×
			実績	2023 年度実績 9 件	
7. 化学物質の 適正管理の 維持(年 1 回点検)	適正管理の維持点検 年 1 回実施	1	目標	①PRTR 法に基づく届出と SDS の受理・管理 ②環境負荷物質含有物は極力使用しない	○
			実績	点検実施 1 回	
	EA-21 責任者評価		使用している原材料についての SDS が随時更新され、使用原材料リストで該当法令の管理が行われている。また、PRTR 法に基づく届出も適切に行われており良好。維持、継続の事。		
8. 環境法令 遵守(年 1 回点検)	環境法令遵守維持・点検 年 1 回実施	1	目標	環境法令の遵守チェックの実施	○
			実績	点検実施 1 回	
	EA-21 責任者評価		計画通りに、各種環境法令に基づく届出が行われており、産業廃棄物のマニフェストの発行/返送照合確認、ボイラー排ガス測定、浄化槽の保守・点検/清掃、劇物の表示と保管庫の施錠も適切に行われており、問題なし。		

【 対目標比% = (実績 ÷ 目標) × 100 】

対目標比%表示：(例) 削減→100%以下 増加→100%超過

評価

○・・・目標を達成出来た

×・・・目標より改善出来なかった

7. 主な環境経営活動計画の内容・活動・評価、次年度の取組内容

*活動は全て全社対象

内容	活 動 内 容	評価	コメント
電気使用原単位の削減	1. 空調フィルターの定期的(2ヶ月に1回)な清掃実施 2. 空調温度管理の徹底(室温冬20℃、夏28℃) 3. 節電啓蒙表示による意識付け 4. 未使用時の電気消灯の徹底 5. 残業時間の削減 6. 運搬車両の休日積み込み制限 7. 設備のアイドリングの短縮、及び未使用時の即時停止の徹底 8. 省電力設備の調査・検討・実施	○ ○ ○ ○ △ △ ○ ○	2023年度は、電気未使用時消灯の声掛けを積極的に行ったが、コルゲータ生産管理システム・機械入替準備・工事、製函機部品交換工事に伴う休日出勤を行った事により電気使用量が増加し削減目標を達成出来なかった。機械設備維持管理を目的としているため致し方ないが、来期は少しでも使用量を削減出来るよう、不要な電気は小まめに消灯を行うこと。
化石燃料使用原単位の削減	1. 営業車燃料(ガソリン+軽油)原単位の削減 ①停止時のアイドリングストップの徹底 ②効率の良い訪問スケジュールを検討する ③遠距離訪問での低燃費車使用の推進 ④短納期対応に伴う営業発送回数の削減 2. リフト燃料(LPガス)原単位の削減 ①停止時のアイドリングストップの徹底 ②急の付く運転(急発進など)禁止 ③整備の徹底 ④エコドライブ表示による意識付け 3. ボイラー燃料(都市ガス)原単位の削減 ①日常点検の実施 ②ボイラーの効率的使用	○ ○ ○ ○ ○ △ ○ △ ○ ○	営業車燃料(ガソリン+軽油)については、生産量が減少し原単位が悪化。また、外出自粛制限が緩和された事により得意先への訪問回数が増え、燃料の使用量が増加したが致し方ない。リフト燃料(LPガス)については、製品課リフトマンに欠員が1名発生し、効率の良い稼働が出来ず削減目標を達成する事が出来なかった。下期で欠員補充をしているので、試験期間内で一人立ち作業が出来るよう教育を行うこと。ボイラー燃料(都市ガス)については、生産量が減少し原単位が悪化したこと、蒸気漏れが複数箇所で見受けられ、修繕しても尚他の箇所に圧がかかり、蒸気漏れを抑えきれなかった事が要因となり、削減目標を達成する事が出来なかった。蒸気漏れ箇所は修繕を行い、削減目標達成出来るよう取り組むこと。
廃棄物原単位の削減	1. 分別の徹底 2. ストレッチフィルムの削減 3. コピー用紙の削減 4. 運転手のゴミ持ち込み禁止 5. ウエスの適正使用(再利用) 6. 廃水処理設備の維持管理による汚泥量の削減	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	廃棄物排出量について、事務職はコピー用紙両面印刷の徹底、工場作業者はストレッチフィルムの無駄遣いを防止し、無駄な廃棄物の発生を削減、目標達成に繋げる事が出来た。汚泥(単純焼却)について、今期は生産量減少となった事から排水量減少、廃液処理稼働時間減となり汚泥排出量の減少に繋がった。今後も目標達成に向けて産廃排出量削減に努める。
水資源使用原単位の削減	1. 節水呼び掛け表示による意識付け 2. 水の出しっぱなし禁止 3. 洗浄作業の見直し 4. トイレ用擬音装置の取り付け(女子トイレ)	○ ○ ○ ○	2022年12月度に下水道接続工事を行い、水量測定基準が一部変更となり従来と比べ流量が増加しているが設備更新による影響のため致し方ない。また、生産量が減少し原単位悪化も目標未達の原因であるため、引き続き、徹底した節水を心掛ける。
手配ミス件数の削減	1. 最善の手順、チェック方法を共有し、思い込み、勘違いによる手配ミスの撲滅 2. 手順、ルール、チェック方法を厳守し、注文の転記ミスをなくす	△ △	確認不足による手配間違い、誤納品が発生。作業手順に制定されたチェック漏れ防止を怠ったことによる類似品手配が主な要因。作業手順の再教育を定期的に行い、決められた手順から逸脱する事なく手配ミス件数0件に向けて取り組むこと。
化学物質の適正管理	1. PRTR法に基づく届出 2. SDSの受理と管理 3. 環境負荷物質含有物は極力使用しない	○ ○ ○	使用している原材料についてのSDSが随時更新され、使用原材料リストで該当法令の管理が行われている。また、PRTR法に基づく届出も適切に行われており良好。
環境法令の遵守	1. 産業廃棄物管理票交付状況報告書届出 2. 産業廃棄物マニフェスト発行、返送照合確認 3. 省エネルギー法に基づく届出 4. 大気汚染防止法に基づくボイラー排ガス測定(年2回) 5. 浄化槽法に基づく浄化槽の保守・点検(月1回)/清掃(年1回) 6. 毒劇法に基づく表示と施錠	○ ○ ○ ○ ○ ○	計画通りに、各種、環境法令に基づく届出が適切に行われている。産業廃棄物のマニフェストの発行/返送照合確認、ボイラーの排ガス測定、浄化槽の保守・点検/清掃、劇物の表示と保管庫の施錠もしっかり行われており問題なし。

評価 ○・・・良くてきた △・・・できるまでもう一歩 ×・・・努力を要す

次年度の取組内容…次年度も上記の取組を継続し、更なる向上をめざし活動を行っていく。

8. 次年度の環境経営活動計画

内容	活 動 内 容	取組内容
社外クレーム削減	1. 反りによるクレーム削減 2. ハガレによるクレーム削減 3. 作業標準から逸脱し発生した不良品によるクレーム削減 4. ロットアウトの削減	●品質規格の厳守、気温低下によるネジレ対策、安定した糊の供給、熱管理による適切な温度調整 ●設備点検の実施、安定した糊の供給（配合）、熱管理による適切な温度調整 ●3ヶ月に1度、品質検査作業手順書の教育を行う ●作業標準に沿った作業、品質検査規格に沿った検査を行う
ケース製品長期在庫削減	1. ケース製品3ヶ月以上の長期在庫撲滅 2. 製品保管時の製品破損事故防止（時間差での崩壊）	●月1回製品倉庫内の在庫確認実施 ●得意先担当の営業、業務と在庫品の情報共有を行う ●製品倉庫内にて保管中の在庫品外観パトロールを逐一行う
社外クレーム是正対象の削減	1. 社外クレームにおける是正対象となるクレーム件数の削減	●品質パトロールの実施 ●品質検査作業の理解度確認 ●作業標準の見直し、教育の推進、確認
工程管理不備の削減	1. 製函工程への製造仕様書不備の削減 2. 管理起因での製板停止削減	●製函部門からの問合せが無いような仕様書を作成、配布する ●第三者確認の完全実施 ●製函部門、製板部門間の連絡を確実に、未貼合防止策の徹底 ●追加予定確定前のロットナンバー確認徹底 ●ルールを徹底し不備を無くす
従業員のスキルアップ	1. 外部講習の計画策定 2. 外部講習の受講手続き	●年間計画に基づく教育訓練の計画的な実施
仕様書不備の削減、新規注文獲得	1. 製造仕様書作成時、作成内容間違いの削減 2. 1人月間5件の新規品を提案	●第三者確認の徹底 ●X型仕様書の内容理解 ●寸法、材質、デザイン等の設計的提案 ●納入方法、発注方法等の管理的提案 ●環境に特化した提案
手配ミス件数の削減	1. 最善の手順、チェック方法を共有し、思い込み、勘違いによる手配ミスの社外流失削減	●正しい受注作業手順標準の定着、チェック方法の繰り返し教育を行い、思い込み、見間違いによる手配ミスの撲滅 ●注文情報は見間違わないようマークし、チェック漏れを発生させないようにする ●類似品名、印刷の有無など、間違いやすい品名は担当営業に訂正を依頼する ●MRCSシステムの有効活用

※上記以外の項目については、「7. 主な環境経営計画の内容・活動・評価」に記載の取組を継続し、更なる向上を目指し活動を行っていく。

9. 改善事例の紹介

< 改 善 前 >

< 改 善 後 >



【製糊室ストレージタンク】

<改善前>

タンク内の糊粘度をザーンカップで確認する際に、稼働していた攪拌機にザーンカップが接触し巻き込まれる恐れあり。

<改善後>

タンクの蓋を開けると攪拌機が停止し、閉めると攪拌機が起動するインターロックを設置した。



【製糊室苛性ソーダタンク】

<改善前>

タンクの梯子が簡易的かつ粉が蓄積しており、昇降時に滑って落下する恐れあり。

<改善後>

梯子に滑り止めを貼り付けた。



【製函レール】

<改善前>

手動トロッコの上を歩行する際に、トロッコが動き、バランスを崩して転倒する恐れあり。

<改善後>

トロッコ足元部分にストッパーを取り付けた。



【緊急時対応訓練】

<ボイラー排ガス異常による黒煙発生>

ボイラー煙突から黒煙発生を想定した緊急時対応訓練実施。

ボイラー停止方法、ボイラーメーカーへの点検依頼手順を確認。



【緊急時対応訓練】

<屋外塗装工事時、降雨による塗料河川流出発生>

屋外塗装工事時に乾く前の塗料が降雨により雨水溝へ流入し、外部流出の発生を想定した緊急時対応訓練実施。

土嚢、遮蔽板、吸着マット等の取り扱い方法を確認。

10. 環境関連法規遵守状況

法規名	適用施設 等	定期測定(点検)等	定期報告(届出)	評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物置き場	・産業廃棄物管理票 (マニフェスト)交付(排出時) ・保管場所表示板に「水銀使用製品産業廃棄物」を追記	産業廃棄物管理票交付状況 報告書(毎年:6月末期限)	○
新潟県産業廃棄物等の適正処理の促進に関する条例	廃棄物置き場	処分委託先への確認及び記録	—	○
阿賀野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	廃棄物置き場	・廃棄物の削減 ・廃棄物の適正処理の確保 ・回収又は処分は定められた業者へ委託	—	○
大気汚染防止法	ボイラー	排ガス測定 (NOX:年2回/煤塵:5年1回)	—	○
毒劇法	苛性ソーダ(水酸化ナトリウム)	・貯蔵場所に白地に赤字で 「医薬用外劇物」表示 ・盗難、紛失などの防止措置 (鍵のかかる保管庫で保管)	—	○
P R T R 法	製糊装置 (ほう素化合物)	—	第一種指定化学物質の排出量 及び移動量の届出書 (毎年:6月末期限)	○
家電リサイクル法	①ブラウン管テレビ ②エアコン ③冷蔵庫・冷凍庫 ④洗濯機 ⑤液晶テレビ・プラズマテレビ	・小売業者にリサイクル料金を支払い、引取り処理を行う (排出時)	—	○
小型家電リサイクル法	①パソコン ②バッテリー ③プリンター ④携帯電話・スマートフォン	・排出時の分別、市または適切に 再資源化をし得る業者に引き渡す	—	○
省エネルギー法	①電気 ②都市ガス ③LP ガス ④ガソリン(構内使用) ※上記エネルギー使用量原油換算値 1,500k1 以上で該当	—	・定期報告書 (毎年:7月末期限) ・中長期計画書 (毎年:7月末期限)	○
工場立地法	敷地面積、建築面積	・緑地及び環境面積の敷地面積に対する割合遵守	—	○
フロン排出抑制法	①業務用空調機器 ②業務用冷蔵機器	①四半期に1回簡易点検、記録保存 (自主点検) ②定格出力に応じ1年に1回から 3年に1回定期自主点検、記録保存 (専門業者)	算定漏えい量報告 ※一定以上(年間1,000CO ₂ -t) のフロン漏洩時	○
労働安全衛生法 労働安全衛生規則	化学物質の事業所で取扱いのある安全データシート(SDS)交付義務のある対象物質	化学物質SDS交付時、化学物質の リスクアセスメント実施所見シート (王子グループ統一書式)にて評価	—	○
プラスチック資源循環促進法	プラスチック使用製品廃棄物排出事業場	「多量排出事業者」:年間250t以上の事業者 ①削減目標の設定、取組計画を作成。 ②情報を公開(努力義務)	管理責任者の選任	○

【 評 価 】

○・・・法規制等に適合 △・・・法規制等から逸脱の可能性有り ×・・・法規制から逸脱している

環境関連法規への違反、訴訟、苦情等の有無 「環境苦情・トラブル・規制値超過 勧告等速報」

自ら点検した結果、環境関連法規制の違反はありませんでした。尚、関係当局からの違反等の指摘もなく、訴訟等はありませんでした。

11. 代表者（事業所長）による全体の評価と見直し結果

<総合評価>

エコアクション21に取り組んでから14年が経過し、社員の環境意識が年々高まり、省エネルギーに対する行動が定着してきたことが毎年数値として表れている。しかし、時間が経過するとその意識が薄れていく傾向が見受けられますので引き続き環境活動への意識付けを行って下さい。目標達成に向けチャレンジし、より良いシステムにしていきたいと思います。

<個別評価>

項目	指示事項	指摘事項
環境への負荷の自己チェック結果	各々で改善が見られた部署もあったが、物価高騰の影響から受注減少に繋がり、生産量が思うように増えず、作業効率の悪化が年間目標未達要因の一つとなった。以前の生産量を確保する事は難しいと思われるので、不良品の発生防止、より効率の良い作業方法、手順を構築し原単位削減に努めて下さい。	自部署だけでなく他部署との連携（報連相）も漏れなく実施し、不備の無いようにすること。
環境関連法規制遵守状況	問題無し。現状を維持して下さい。	法改正があれば都度対応して下さい。
環境経営目標の達成度	今期は生産量が減少し原単位が悪化したことから年間目標を達成する事が出来なかった。来期は得意先訪問ルートの見直し、短納期受注対応時の営業発送回数が増えることがないよう、通常納期での交渉を行い、使用量の削減に努めて下さい。	省エネ設備の効果だけに頼る事なく、各々が削減意識を持って取り組めるよう、意識改革を促進して下さい。
環境経営活動計画の実施状況	作業環境の変化に合わせ、環境目標を見直し計画通りに実施出来ています。引き続き計画に則って活動を行って下さい。	計画に不都合があれば随時見直して下さい。
教育実施結果	環境リスクの理解を更に高めて下さい。	定期的な教育を実施すること。
苦情を含む外部の利害関係者からのコミュニケーション結果	現状維持に努めて下さい。	引き続き適切な対応を心掛けて下さい。
緊急事態の準備及び訓練結果	緊急事態の際、対応が出来る様にその準備、訓練を引き続き行って下さい。	全員が参加できるよう教育すること。
問題点の是正・予防処置の状況	作業環境の変化や活動年度を重ねる毎に項目別削減目標が厳しくなり達成が難しい状況ですが、良く検討し改善して下さい。	結果が出てから予防・是正するのではなく、都度改善案を検討すること。
環境関連文書・記録の作成・整理状況	問題ないと判断します。現状を維持して下さい。	不備の無いよう確認を徹底して下さい。
経営における課題とチャンスの取り纏め状況	経営における課題とチャンスを踏まえた方針を定め、各々取り組み実施すること。	各々新たな業務改善を検討していくこと。
指示事項に対する決定・処置内容	①環境経営方針	変更無し
	②環境経営目標	変更有り
	③環境経営活動計画	変更有り
	④環境経営システム	変更無し
	⑤組織体制	変更有り